

【メモ欄】

～照明計画策定に関する課題の抽出について～

⇒H24 年度 実施設計

～課題抽出、設置の有無、デザインを含め検討～

⇒H25 年度 協議をふまえ、必要箇所について工事実施予定

公園進入路～パークセンター
エリア
～民活区域アプローチ(市道)～

進入路～駐車場～パークセンター
ほかエリア



年度	19	年	平成20年2月
地名	東佐野市上之郷		
公園名	東佐野児童遊園地		
工事名			
図説種別	中地区計画平面図		
縮尺	1:1,000	設計	●
大塚野岸和田土木事務所			

谷口池東側園路について (H24工事実施予定)

計画 平面図(案)

S=1:250

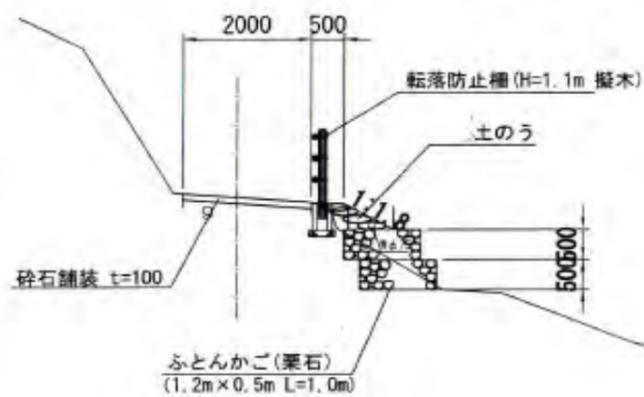
S=1:200

ふとんかご設置区間 L=65.0m

転落防止柵 設置区間 L=100.0m

標準 横断面
(NO.1 付近)

・管理車両用通路は、2t車が通行可能な構造とする為に
ふとんかごを設置



HHWL=57.62

HWL =57.10

DL=55.00

年度	年度	年度	年度
地名	東佐野市上之郷	作成	平成 年 月
路線名	東佐野丘陵緑地	設計	
工事名		縮尺	1:200
設計者		設計	
大阪府産地土木事務所			

谷口池西側エリア施設配置について

パークレンジャーや府民活動を誘発するための基盤施設
 ◇花苗生産拠点機能
 地域の活性化、まちづくりに役立てるための花苗生産をおこなう
 ◇バックヤード機能
 府直営作業やパーククラブとの協働作業に必要な重機等を管理する
 ◇ボランティア活動支援機能
 パーククラブの詰所や作業所など、園内活動を支える



配置施設イメージ

追加倉庫



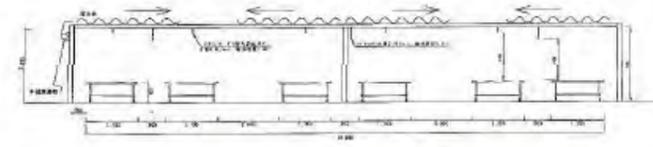
資材倉庫兼作業所



ガラス温室



屋外苗床



パーククラブ 詰所兼作業場



今後の事業予定

年度	大阪府(工事発注)	大阪府(移設)	大輪会(寄付)
平成24年度	基盤整備工事 ・埋設管(給水・排水・電気) ・外周柵・管理用門扉 ・園路舗装 等	郷の館 倉庫	パーククラブ詰所兼作業場
		高速炭化炉	
平成25年度	設備工事 ・電気配線 ・給水ポンプ 等	りんくう公園倉庫	資材倉庫兼作業所
		屋外苗床	
平成26年度	-	-	ガラス温室

パーククラブ 詰所兼作業場
 16m x 9m程度

郷の館
 移設倉庫

炭焼小屋
 5m x 5m程度

高速炭化炉を
 移設予定

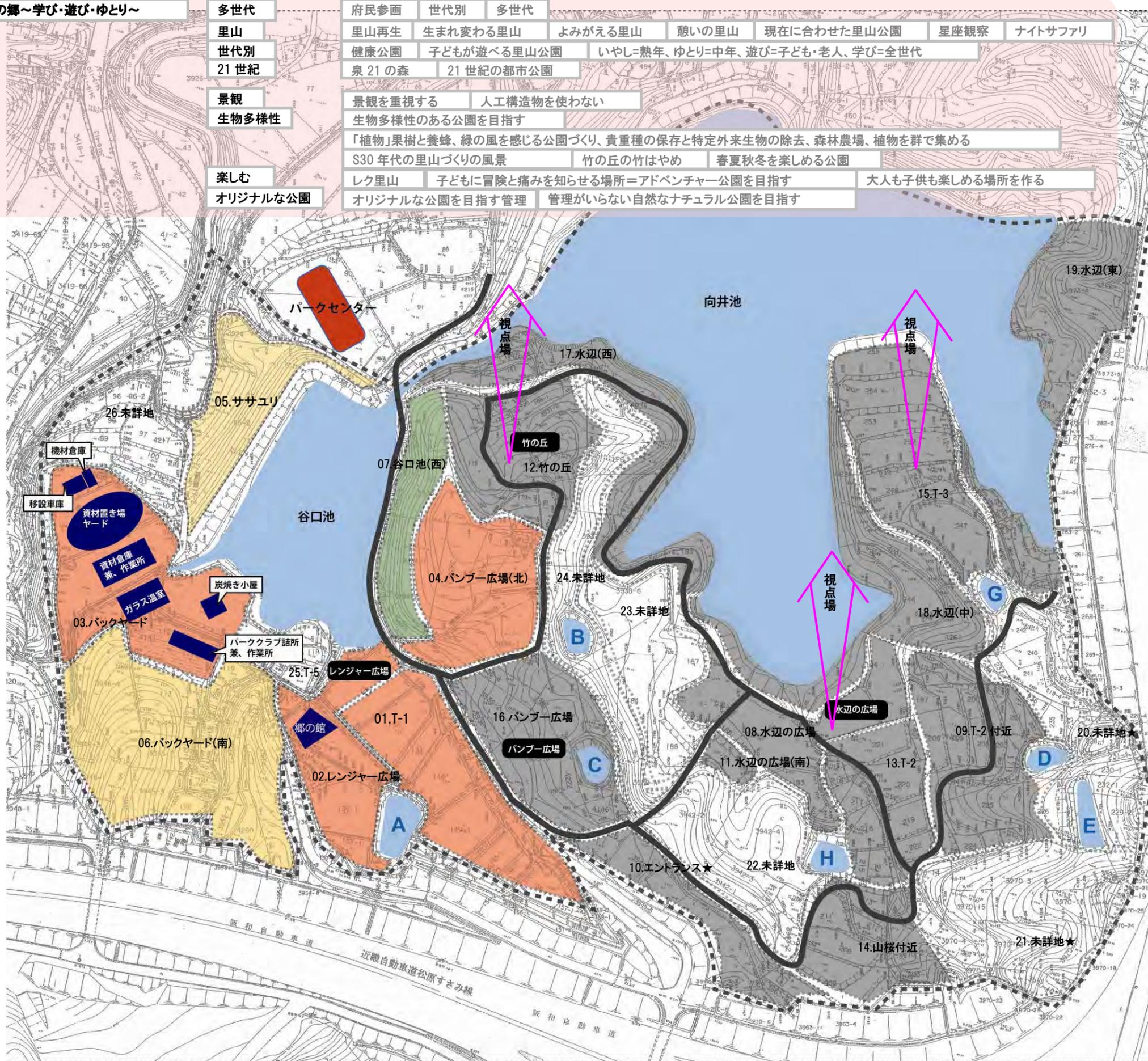


※大輪会からご支援いただく内容、時期については、調整中

泉州の郷～学び・遊び・ゆとり～

多世代	府民参画	世代別	多世代
里山	里山再生	生まれ変わる里山	よみがえる里山
世代別	健康公園	子どもが遊べる里山公園	いやし=熟年、ゆとり=中年、遊び=子ども・老人、学び=全世代
21世紀	泉 21 の森	21世紀の都市公園	
景観	景観を重視する	人工構造物を使わない	
生物多様性	生物多様性のある公園を目指す		
楽しむ	「植物」果樹と養蜂、緑の風を感じる公園づくり、貴重種の保存と特定外来生物の除去、森林農場、植物を群で集める		
オリジナルな公園	S30年代の里山づくりの風景	竹の丘の竹はやめ	春夏秋冬を楽しめる公園
	レク里山	子どもに冒険と痛みを知らせる場所=アドベンチャー公園を目指す	大人も子供も楽しめる場所を作る
	オリジナルな公園を目指す管理	管理がいらない自然なナチュラル公園を目指す	

活用	イベントやレクリエーションなど、アクティブに頻繁に使われる場所
保全	頻繁に使われず、たまに草刈りや整備などが必要な場所
保存	保存すべき植物などがある場所、使われることはない
検討中	調査はしているが、活用・保全・保存の方向性が定まっていない
未詳地	詳しく分かっていない場所(未調査区域)

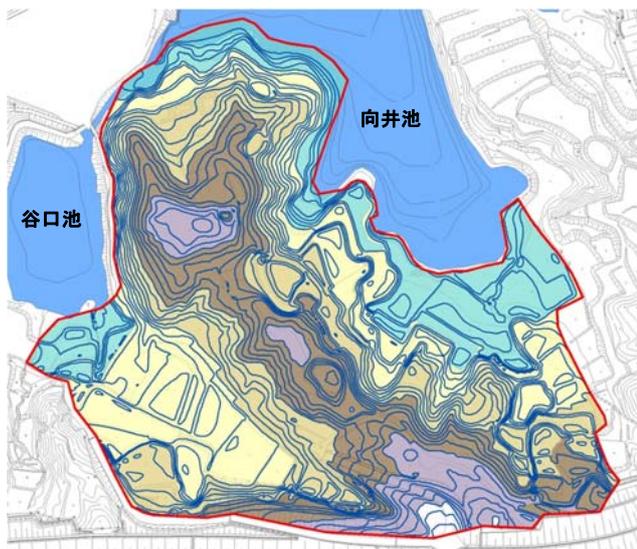


ゾーニング	エリア	植生	地形
01	活用	T-1	ハンノキ・ヤナギ林
02	"	レンジャー広場	未調査
03	"	バックヤード	未調査
04	"	バンパー広場(北)	コナラ林 モウソウチク林
05	保全	ササユリ	未調査
06	"	バックヤード(南)	未調査
07	保存	谷口池(西)	コナラ林 スギ・ヒノキ植林
08	検討中	水辺の広場	コナラ林 モウソウチク林
09	"	T-2 付近	コナラ・ヤマモモ群落 モウソウチク林
10	"	エントランス	コナラ林 クズ群落
11	"	水辺の広場(南)	コナラ林
12	"	竹の丘	モウソウチク林
13	"	T-2	コナラ林
14	"	山桜付近	コナラ林 スギ・ヒノキ植林
15	"	T-3	コナラ・ヤマモモ群落
16	"	バンパー広場	コナラ林 モウソウチク林 スギ・ヒノキ植林
17	"	水辺(西)	コナラ林 スギ・ヒノキ植林
18	"	水辺(中)	コナラ林 モウソウチク林 コナラ・ヤマモモ群落
19	"	水辺(東)	モウソウチク林
20	未詳地	未詳地	コナラ・ヤマモモ群落 モウソウチク林
21	"	未詳地	モウソウチク林
22	"	未詳地	コナラ林 スギ・ヒノキ植林
23	"	未詳地	コナラ林
24	"	未詳地	コナラ林 モウソウチク林
25	"	T-5	モウソウチク林
26	"	未詳地	未調査

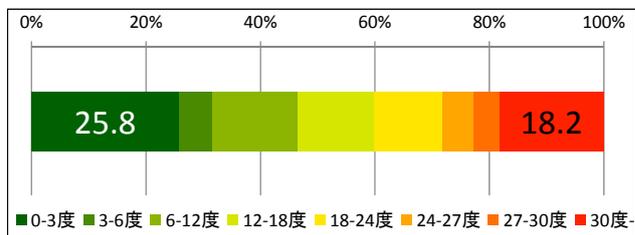
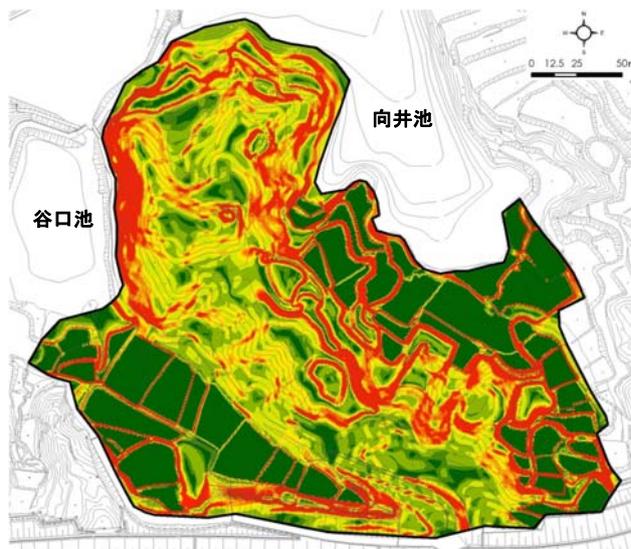
備考: ★は景観と防音の観点から竹を保存するゾーン、08.バックヤード南はイベント用として竹を利用、中心部の竹は真竹と破竹のみ残り孟宗竹は伐採

Step2 市民による管理活動の適地選定

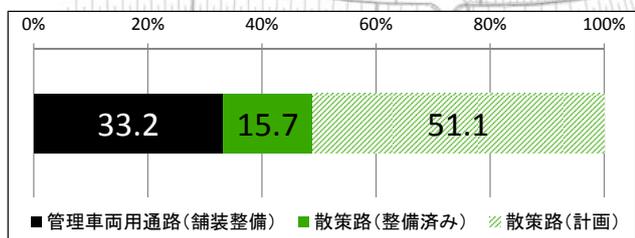
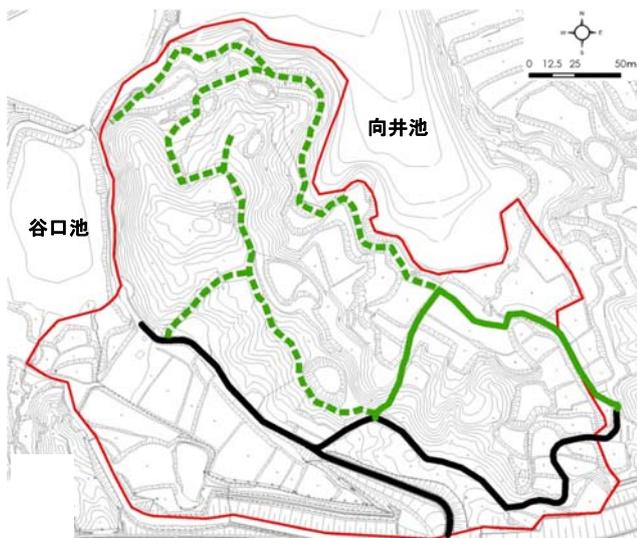
■ 標高



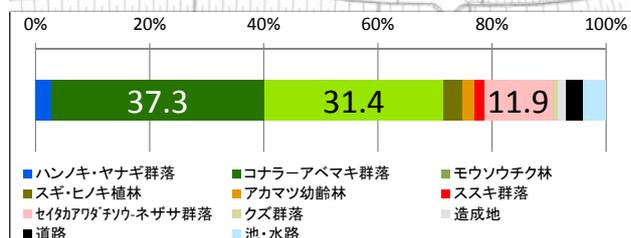
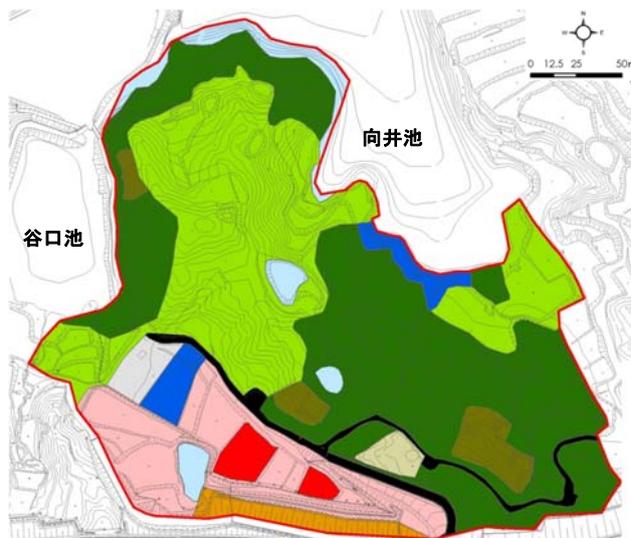
■ 傾斜度



■ アクセスルート



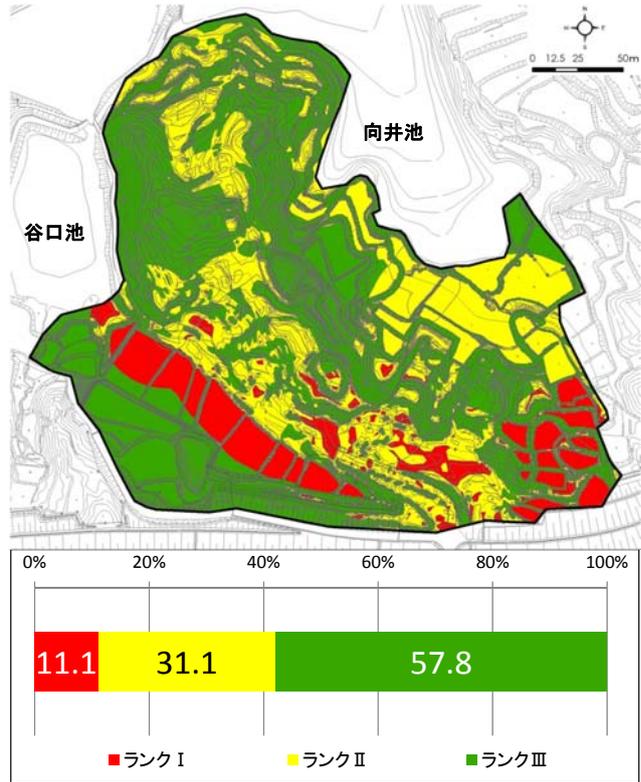
■ 植生



■活動難易度：評価マトリクス

		アクセス性			
		ランクⅠ (管理車両 用通路:30 m以下)	ランクⅡ (散策路: 30m以下)	ランクⅢ (散策路(計 画):10m以 下)	ランクⅣ (管理車両 用通路・散 策路:30m 超、散策路 (計画)10m 超)
傾斜度	ランクⅠ (0~6度 以下)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ
	ランクⅡ (6度~18度 以下)	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ
	ランクⅢ (18度以上)	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ

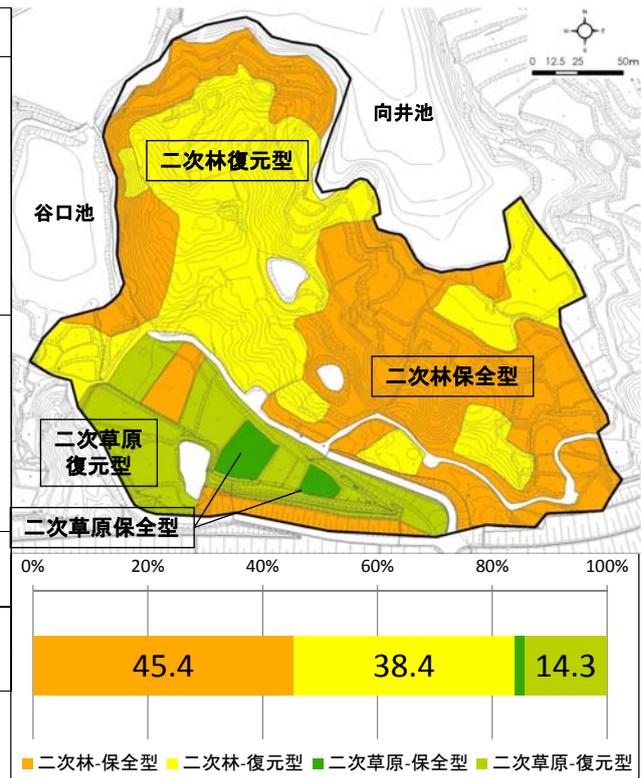
■活動難易度：評価結果



■植生管理タイプの設定

群落名	植生の目標像*	植生管理タイプ
樹林	ハンノキ・ヤナギ群落	保全型
	コナラーアベマキ群落	
	アカマツ幼齢林	二次林
	モウソウチク林	
	スギ・ヒノキ植林	復元型
	クズ群落	
草地	ススキ群落	二次草原
	セイタカアワダチソウ・ネザサ群落	
	造成地	復元型

■植生管理タイプの設定結果



* 泉佐野丘陵緑地基本設計報告書（平成19年3月）：大阪府岸和田土木事務所
 コラボレーション区域におけるワークショップの検討内容(平成22年度)：泉佐野丘陵緑地パーククラブ

■ 市民による管理活動の適地選定

< 評価の枠組み >

植生管理タイプ
×
活動難易度 } オーバーレイ

< 選定結果 >

